

2020年1月2、3日に激走!

創大スポーツ

2019年(令和元年)10月30日(水)

発行: 創価大学企画広報課 〒192-8577東京都八王子市丹木町1-236 TEL.042-691-9442



創大駅伝部

GO! 箱根シード獲得へ 揺るぎない想いを

予選会を5位で通過

2年間のウツピン晴らす

「第96回東京箱根間往復大学駅伝競走」の予選会が10月26日(土)、東京・立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園までの21・097.5キロで関東の大学43校が参加して行われ、創価大学を含む上位10校が本大会への出場権を獲得した。

創価大学陸上競技部駅伝部はスタートから好位置をキープ、そのまま押し切り5位に入り、3年ぶり3回目の出場を決めた。上位5校の記録は拮抗しており2位神奈川大学とは48秒差、4位明治大学に至ってはなんと1秒差という大激戦であった。

本大会は2020年1月2、3日に行われ、前回のシード校とオープン参加の関東学生連合を含む21チームが箱根路を走る。

今年の選手たちはスタートから自信がみなぎっていた。新たに就任した榎木監督は目標を達成するために選手がそれぞれ考えて練習に取り組み姿勢を丁寧にした。2年連続予選会を突破できなかった選手たちはその悔しさを胸に榎木監督の下、一人一人が個人目標や月間走行距離練習メニューを決めてモチベーションを高めていった。それがチームの推進力につながり目標へ向けてチームの一体感が強固になっていった。

榎木監督は自信たっぷり「去年の反省から15キロ以降の失速をなくするため、夏合宿を軸にチーム全員で基本に徹し走り込んできたことが予選突破につながりました。箱根駅伝では強豪校との争いになりますが、今回の予選会と同じようにワクワクしながら臨めるよう、練習に励んでいきたい」と語る。

チームにとって本大会出場は一つの通過点。目標は2年前の1月に悔しい思いをしたシード権の獲得だ。これまで走りこんできたことに自信をもち一人一人が力を存分に発揮し更なる高みを目指していく。

2020年1月3日、創価大学に新たな歴史の1ページが書き記されようとしている。

予選会を突破できなかった選手たちは

【シード校】			
1位	東海大学	7年連続	47回目
2位	青山学院大学	12年連続	25回目
3位	東洋大学	18年連続	78回目
4位	駒澤大学	54年連続	54回目
5位	帝京大学	13年連続	21回目
6位	法政大学	5年連続	80回目
7位	國學院大学	4年連続	13回目
8位	順天堂大学	9年連続	61回目
9位	拓殖大学	7年連続	41回目
10位	中央学院大学	18年連続	21回目

【予選通過校】			
1位	東京国際大学	3年連続	4回目
		10時間47分29秒	
2位	神奈川大学	10年連続	51回目
		10時間50分55秒	
3位	日本体育大学	72年連続	72回目
		10時間51分09秒	
4位	明治大学	2年連続	61回目
		10時間51分42秒	

5位 創価大学			
		3年ぶり3回目	
		10時間51分43秒	
6位	筑波大学	26年ぶり	63回目
		10時間53分18秒	
7位	日本大学	2年連続	89回目
		10時間54分29秒	
8位	国土館大学	4年連続	48回目
		10時間55分21秒	
9位	早稲田大学	44年連続	89回目
		10時間55分26秒	
10位	中央大学	3年連続	93回目
		10時間56分46秒	

オープン参加 関東学生連合

順位	選手名	出身地・出身校	学年	記録
7	米満 怜	福岡県・大牟田高校	4	1時間03分19秒
43	石津 佳晃	静岡県・浜松日体高校	3	1時間04分46秒
52	福田 悠一	鳥取県・米子東高校	3	1時間05分01秒
56	葛西 潤	大阪府・関西創価高校	1	1時間05分03秒
61	ムソニ ムイル	ケニア・ムンゲン高校	4	1時間05分07秒
67	永井 大育	鹿児島県・樟南高校	2	1時間05分13秒
81	築館 陽介	長野県・佐久長聖高校	4	1時間05分25秒
96	嶋津 雄大	東京都・若葉総合高校	2	1時間05分36秒
112	鈴木 大海	神奈川県・藤沢翔陵高校	3	1時間05分53秒
141	大澤 智樹	長野県・佐久長聖高校	3	1時間06分20秒
196	上田 結也	熊本県・九州学院高校	4	1時間07分06秒
240	鈴木 ニムラ	千葉県・流山南高校	4	1時間07分49秒

想定内でしっかり選手がまとめてくれた

力強い応援ありがとうございました。5位の結果で本大会の出場権を得ることができました。箱根駅伝までの2カ月間、さらに努力を積み重ねて、皆様に箱根路で最高の走りを見せたいと思います。引き続き応援よろしくお願いします。

ペース設定は、選手たちが事前に決めた5キロを15分、15分15秒。築館主将以下、上級生を中心に声を掛け合い、集団走を乗り切ってくれました。

5位通過は納得のいく結果ですが、まだ改善すべき課題があることは選手も理解してくれています。逆に完璧じゃなくて良かったと感じます。これまで選手はいろんな課題にすぐ取り組み、取り組んでくれました。その積極性を本大会で力に変えたい!



榎木和貴監督

箱根駅伝予選会個人記録

負け魂でシード入りだ!!



12人の団結



4年生 経済学部 ケニア・ムンゲン 高校

予選のタイムと順位
1:05:07 61位

走っていた時は、本大会に出場することのみ考えていましたが、足の裏の皮がむけ、思うように力が出せませんでした。チームとしての5位という結果はとても嬉しかったです。本大会に向けての決意は、今回の走りを取り返りながら、1月までに準備ができるように頑張ります。



4年生 文学部 福岡県・大牟田高校

予選のタイムと順位
1:03:19 7位

夏以降、調子が上がらず不安でしたが、日本人トップを獲得するという目標を掲げました。本来の走りが出てきたのですが、箱根につながるいい走りにならなかったと思います。本大会ではチームでシード権獲得、個人では日本人トップの選手たちと競い合い、区間1桁の走りができるよう、頑張っていきます。



4年生 文学部 熊本県・九州学院高校

予選のタイムと順位
1:07:06 196位

最初から思うような走りができず力が発揮できませんでした。本大会で後悔しないよう、自分の力を最大限に発揮して頑張ります。沿道からの声援は力になりました。本大会でもぜひ沿道で応援していただけると嬉しいです。そして皆さんの応援にシード権獲得というところで報いたい。



3年生 法学部 鳥取県・米子東高校

予選のタイムと順位
1:05:01 52位

予選会では、そんなに良いコンディションではなかった中で、上手くまとめて走ることができました。沿道走っている間は耐え抜いて、昭和記念公園に入りラスト200メートルでスタートをかけた。皆さんの力強い応援が力となり、最後まで走り切ることができました。ありがとうございました。



4年生 経済学部 千葉県・流山南高校

予選のタイムと順位
1:07:49 240位

昨年は入院し、病院からチームメイトを応援していました。最後の箱根駅伝のことで予選会まで体調を上げてきました。結果的に4年生として貢献できなかったのが本大会に悔しい。箱根本大会では今回の失敗を生かして、4年生最初で最後の10区としてゴールテープを切るように準備していきます。



3年生 文学部 長野県・佐久長聖高校

予選のタイムと順位
1:06:20 141位

夏合宿のおかげで、2年前より体力的にも精神的にも余裕が出たのが大きな違いでした。予選会を走り切り、力がついたと感じています。ずっと10位あたりで走っていて順位決定のプレッシャーを感じていましたが、最後まで走り切ることができました。本大会までの2カ月間頑張りたいと思います。



3年生 経営学部 神奈川県・藤沢翔陵高校

予選のタイムと順位
1:05:53 112位

予選会は体調があまり良くない中での走りだったので悔やまれます。本大会では更に良い状態に持っていきます。また昨年は学連選抜で走り、悔しい思いをしたので、今度は挽回できるような走りを目指したいと思います。そして、襷を良い位置でつなげられるようにしたいと思います。



3年生 文学部 静岡県・浜松日体高校

予選のタイムと順位
1:04:46 43位

夏合宿より、月間750キロを目標に走り込み、今日の予選を迎えることができました。その結果、創価大学チーム全体の2位で走ることができました。本大会では、今日のような集団走ではなく一人で走ることになるので、良い走りができるように仕上げていきます。



2年生 文学部 東京都・茗荷総合高校

予選のタイムと順位
1:05:36 96位

スタートから前に出ていくことを意識して走っていました。レース中盤、かなりきついところもありましたが、100位以内に入ることを目指し、慌てず自分自身を信じて走り切ることができました。これも夏合宿の厳しい練習を乗り越えることができた成果だと思っています。



2年生 文学部 鹿児島県・樟南高校

予選のタイムと順位
1:05:13 67位

先輩と共にペースをキープしながら走ることができました。夏の合宿では辛いというより楽しいという感じで達成感を得ました。マイルさんや先輩に頼らなくても戦えるチームになったと思います。家族に箱根で走る姿を届けたいとずっと約束していたので、やっと夢が叶います。頑張ります。



1年生 文学部 大阪府・関西創価高校

予選のタイムと順位
1:05:03 56位

留學生の存在が本大会に大きかったです。力強い走りを見て目指したいと感じました。注目大きい箱根駅伝に行くのは楽しみです。メンバーに入り、チームに貢献できるように頑張ります。予選会で経験したハイス感覚などが良い経験になりました。箱根のメンバーとして走り切ります。



4年生 経済学部 長野県・佐久長聖高校

予選のタイムと順位
1:05:25 81位

主将になったとき、当時の瀬上監督から「一人ももれなくチーム全員をまとめて欲しい」と言われ、どうしようかと悩みました。そこで、4年生をリーダーに5、6人の班を作り、先輩、後輩で支え合い、刺激し合ったりすることで、何でも話せる明るいチームになってきました。また、一人月間750キロの走り込み目標は、メンバーにとって本気で競技に向き合う時間が増えました。予選突破は、選手とマネージャーなど全員が力を出したからこそです。これからが大事です。2カ月後の本大会に向けてチーム力を上げ、シード権を狙っていきます。皆さんに「やるじゃん創価」と言ってもらえるよう頑張ります。



久保田コーイチコメント

新生・創価大学になった

2年間予選落ちして、チームの中でも負ける漂っていた。2年間の新生監督が抜擢してくださり、新たな指導法・方針を掲げてくださったおかげで、新生・創価大学といった新しいチームに生まれ変わりました。前回、創価大学は、本大会で12位という結果を出しています。それを上回る結果を、1月2、3日と目指していきたい。そのためには、もうワンランク上のチーム作り、強化をしていきます。



10月26日(土)、全日本吹奏楽コンクール(大学)の部がリンクステーションホール青森にて開催され、本学パイオニア吹奏楽団が銀賞に輝いた。

パイオニア吹奏楽団 全国大会で銀賞受賞!

平和の大切さを伝える演奏を目指し練習に励む

今年には、全国各地の予選を勝ち抜いた代表13校が出場、同楽団は作曲家・伊藤康英氏の指揮で、課題曲「ピノス・サイケデリック」(白影貴文作曲)と自由曲「オペラ」(ある水筒の物語)によるハラフレース(伊藤康英作曲)を演奏した。

男女柔道部が全国大会で健闘!



9月の全日本学生柔道体重別選手権大会に出場した小山内選手(左)と長屋選手(右)



優秀選手に選出された小山内選手

小山内選手が優秀選手に選出される

6月22日(土)に日本武道館で開催された全日本学生柔道優勝大会に、本学女子柔道部が3人制に出場し第3位に輝き、大会の優秀選手に小山内選手(法学部2年)が選ばれた。準々決勝では、大将として臨んだ峯田千裕選手(法学部3年)が、試合時間残り1分を切ったところで絞め技を決めて一本を取り、逆転勝利を収めた。準決勝では、昨年激戦の末に敗退した強豪・明治国際医療大学(関西学生柔道連盟)にチーム一丸で挑むも、0-2で惜敗した。全国大会を終え、主将の岩佐碧選手(教育学部4年)は「全国大会に向けて、激しい練習にも、皆で声をかけ、



6月の全日本学生柔道優勝大会で3位に輝いた

箱根駅伝沿道での応援について (箱根駅伝公式 Web サイトより)

- 脚立を使つての応援は危険です。
- ガードレールや橋など、沿道公共物への横幕、旗、幟等のくくりつけは、道路交通法違反行為です。
- 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
- 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100メートル以内では出場校を示す物は掲出できません(例:校旗、部旗、その他、大学を標示する横幕、旗、大学新聞の配布等)。
- 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
- 選手は歩道寄りギリギリを走ってきますので、歩道から手や身体を乗り出しての応援は危険です。
- コース周辺での無人飛行機(ラジコン、ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。

東京箱根間往復大学駅伝コース

1区 大手町～鶴見	6区 箱根～小田原
2区 鶴見～戸塚	7区 小田原～平塚
3区 戸塚～平塚	8区 平塚～戸塚
4区 平塚～小田原	9区 戸塚～鶴見
5区 小田原～箱根	10区 鶴見～大手町

往路 107.5km
復路 109.6km

スタート・ゴール地点 大手町

折り返し地点 箱根

お知らせ

○応援について
1月2日、3日の箱根駅伝本大会における沿道での応援に関する注意事項や応援場所等については、12月中旬に創価大学のホームページにてお知らせしますのでよろしくお願いいたします。

ご寄付について

本学へのご寄付を希望される方はメールまたはファックスで、「創価大学寄付振込用紙希望」と明記し、お名前(漢字とカナ)・郵便番号・住所・連絡先(電話番号)を校友課宛にお知らせください。

ワン・チーム、での頑張りだった



全国の応援してくださっている皆様、3年ぶりの出場となりまます。引き続き、応援よろしくお願いたします。

馬場学長コメント



選手の皆様、サポートしてくださっている方々も本当におめでとございませう。まさに心ひとつに励み合おう。ワン・チームの頑張りだったと思ひます。2カ月後の本大会を目指して、ここから更に頑張ってください。

田代理事長コメント

本大会ではシード権を目指して!

自分が主将になり、新年を迎えるにあたって、書き初めで、「セル超え」という言葉を書き新年の決意として、部屋に貼ってやっています。今日絶対に勝つたろうと思ひ、皆さんに見せるために持つてきました。3年前のセルナルド祐慈さんが主将を務めた時は3位通過だったので、今回は5位でまだ超えられていないです。しかし、榎本監督の体制になってから、まだ始まったばかりで、チームとしてやっと思ひます。

チーム一丸でシード権を

結果が残せたのではないかと、うれしく思っています。たくさんの応援、本当にありがとうございます。創大駅伝部はいろんな方々に愛され、応援していただいているチームだと感じています。皆さんに夢と希望を与えられ、第96回箱根駅伝となるよう、ここからまた榎本監督を中心にチーム一丸となつて、シード権獲得を目指し取り組んでいきます。引き続き応援をよろしくお願いたします。

瀬上総監督コメント



本大会出場が決まり、まずは安堵の気持ちです。今回は、台風や大雨で大きな被害を受けた方へ、少しでも希望を贈る



杉山晃基投手 ヤクルト 3位指名

望月大希投手 日本ハム 5位指名

2019年プロ野球ドラフト会議



10月17日(木)、2019年プロ野球ドラフト会議が都内(グランドプリンスホテル新高輪)で行われ、本学硬式野球部から杉山晃基投手(法学部4年)が北海道日本ハムファイターズから3位指名を、望月大希投手(経営学部4年)が北海道日本ハムファイターズから5位指名を受けた。



杉山晃基投手



望月大希投手

1軍での活躍誓う



○杉山 晃基(すぎやま こうき)
 法学部4年 東京都葛飾区出身
 1997年6月25日生 22歳 182cm
 84kg 右投左打
【球歴】
 小学校:東京北砂リトル(葛飾区立梅田小)
 中学校:墨田ポニー(葛飾区立立石中)
 高校:盛岡大付属高校(岩手)
【球速・球種】
 MAX154km/h、スライダー、カットボール、フォーク、ツーシーム、チェンジアップ
【セールスポイント】
 力強いストレートと多彩な変化球
【高校時代】
 2年生の秋から背番号1をつける。3年生夏の県大会ベスト8。甲子園出場なし。
【大学時代】
 1年生(2016年)春季リーグ戦で初登板。2年生秋季リーグ戦で最高殊勲選手、最多勝、最優秀防御率、ベストナインのタイトルを受賞。3年生春季リーグ戦で最高殊勲選手、最多勝、ベストナインを受賞。同年関東大会で最優秀投手賞を受賞。全日本大学野球選手権や明治神宮大会を含む全国大会では6戦中5戦に先発として登板し、チームからの信頼も厚い。現在リーグ戦25勝2敗。



○望月 大希(もちづき だいき)
 経営学部4年 千葉県船橋市出身
 1998年2月1日生 21歳 187cm
 85kg 右投右打
【球歴】
 小学校:南流ファイターズ(流山市立南流山小学校)
 中学校:船橋市立八木が谷中学校(千葉)
 高校:市立船橋高校(千葉)
【球速・主な球種】
 MAX146km/h、カーブ、スライダー、フォーク、ツーシーム
【セールスポイント】
 角度のあるストレートと変化球
【高校時代】
 2年生からベンチ入り。同年秋からエースナンバー1をつける。秋季千葉県大会ベスト4。甲子園出場なし。
【大学時代】
 1年生(2016年)春季リーグ戦で初登板。リリーフを中心に投げる。1年生の終わり頃にIgA腎症にかかり入院や手術を行い、1年間かけて完治させた。3年生春季リーグ戦では最優秀防御率のタイトルを獲得。4年生の春の全日本大学野球選手権に出場し、2回戦・東北福祉大戦での投球が高く評価され、侍ジャパン大学代表メンバー候補に選出された。

岸雅司監督

指名後、本学本部棟内の会議室で行われた記者会見で杉山投手は、「東京ヤクルトスワローズに決まりました。戦ったのが明治神宮球場なので縁を感じます。これまで支えてくださった皆さんに感謝申し上げます。野球部先輩の小川投手と同じチームとなりますので、背中を追いかけて、1日でも早く1軍のマウンドに立てるよう頑張ります」と述べた。

また、望月投手は、「怪我や病気など様々なことがありましたが、家族をはじめ周りの支えのおかげで乗り越え、この日を迎えることができました。杉山投手とともに2人で切磋琢磨し合い、1軍の舞台で活躍したいと思います。北海道日本ハムファイターズの一員として野球ができることを誇りに、プロでの野球人生を歩んでまいります」と語った。

記者会見に同席した岸雅司監督は、「創価大学硬式野球部出身の先輩が新人王を獲得した球団に指名されたことに深い縁を感じました。杉山投手、望月投手は指名された球団の期待にこたえられるよう、思う存分に力を発揮し、多くの人に勇気と希望を与えてもらいたいと思います」とエールを送った。

創価大学卒業 プロ野球選手一覧

NO	氏名	所属球団	備考
1	武藤 孝司	近鉄バッファローズ	1995年度ドラフト3位
2	高橋 郁雄	一光→東京ヤクルトスワローズ	1997年度テスト入団
3	阿久根 鋼吉	NTT関東→北海道日本ハムファイターズ	1998年度ドラフト5位
4	中村 隼人	本田技研→北海道日本ハムファイターズ→読売ジャイアンツ	2000年度ドラフト4位
5	小谷野 栄一	北海道日本ハムファイターズ→オリックスバッファローズ	2002年度ドラフト5位
6	八木 智哉	北海道日本ハムファイターズ→オリックスバッファローズ→中日ドラゴンズ	2005年度ドラフト希望入団枠
7	高口 隆行	北海道日本ハムファイターズ→千葉ロッテマリーンズ	2005年度ドラフト6位
8	梅田 浩	読売ジャイアンツ	2005年度ドラフト8位
9	金森 久朋	西多摩クラブ→東北楽天ゴールデンイーグルス	2006年度育成ドラフト1位
10	高田 周平	信濃グランセローズ→阪神タイガース	2009年度育成ドラフト2位
11	大塚 豊	北海道日本ハムファイターズ	2009年度ドラフト2位
12	田上 健一	阪神タイガース	2009年度育成ドラフト2位
13	小川 泰弘	東京ヤクルトスワローズ	2012年度ドラフト2位
14	石川 終太	福岡ソフトバンクホークス	2013年度育成ドラフト1位
15	倉本 寿彦	日本新薬→横浜ベイスターズ	2014年度ドラフト3位
16	寺嶋 寛大	千葉ロッテマリーンズ	2014年度ドラフト4位
17	田中 正義	福岡ソフトバンクホークス	2016年度ドラフト1位
18	池田 隆英	東北楽天ゴールデンイーグルス	2016年度ドラフト2位
19	海老原一佳	富山GRNサンダーバース→北海道日本ハムファイターズ	2018年度育成ドラフト1位